



かつもく 刮目

学校教育目標

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～



校訓 [自主・剛健・高雅]

東金市立東金中学校
学校だより 第10号
令和3年 1月25日発行
文責：副校長 村井 克行

3学期始業式から

校長先生の話



今日1月7日に、皆さんが元気に登校し、3学期の始業を迎えられたことを、先ず喜びたいと思います。これまでのところ、大きな事故、けがの報告は私のところへ、入っておりません。これが、一番大切なことであり、うれしいことです。14日間の休みを有効に過ごしたことと思います。いよいよ新しい年が始まりました。気持ちも新たに、今年も目標を持って、様々なことに取り組んでいってほしいと思います。既に新年の抱負を持っている人は良いですが、また、目標が定まっていない人は、どんなに小さな事でも大きな事でもかまわないので、どんどん書き出してみるのが一つです。

新しい年の始まりとともに、3学期の始まりでもあります。ご存じのとおり3学期は1月から3月までの期間ですが、「1月は行く」、「2月は逃げる」、「3月は去る」と言われるように、とても忙しく、短い期間でもあります。また、今年度のまとめの学期であるとともに、次年度の準備の学期でもあります。特に3年生は、いよいよ入試の本番を迎えます。先を見据え、計画的に過ごしてほしいと思います。

さて、本校の学校教育目標は、～刮目の生徒～ かけがえない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成であり、「めざす生徒」の

1つ目は、学ぶ意欲を持ち、主体的に進路決定できる生徒
2つ目は、自らを鍛え、基本的な生活習慣を身に付ける生徒
3つ目は、思いやりを持ち、ともに感動しあう気品のある生徒です。日常実践としての、挨拶・時間・身だしなみ・掃除、「あ・じ・み・そ」を意識し、3学期も皆さんが充実した日々を送れることを期待しています。

最後になりますが、報道されているように、新型コロナウイルスの感染については、感染拡大が続いており、緊急事態宣言が発せられる予定です。4月・5月の時のように学校が臨時休校になることは無いようですが、感染予防をしっかり行っていかなければなりません。マスクの着用や手洗い、密を避けることなど、引き続き一人一人が感染拡大防止にしっかりと取り組んでいきましょう。



生徒代表の話 第1学年代表 1年4組 佐瀬 陽斗さん

僕は今から3つの抱負を発表したいと思います。まず、個人の抱負としては、目標と目的を持って何事もやり遂げるということです。なぜ僕がこの抱負を持ったのかというと、自分が今、何をやりたいのかがわかり、それを実現するためには、ただ何も考えずにやっているだけでは何も進歩がないと思ったのでこの抱負にしました。

次に、学級や学年としての抱負です。3学期が終了すると2年生に進級し、新1年生が入学してきます。その時にきちんと上級生としてお手本にならなければなりません。上級生として自覚を持った行動や発言をすることを3学期中に完璧にできるようにしたいと思っています。最後に、今、新型コロナウイルスで世界中が大変なことになっています。このような状況の中で、今、僕たちがすべきこと、やるべきこと、できることをきちんと考え、気をゆるめずに行動し全員で力を合わせていきたいと思っています。



表彰

【中学生の税についての作文】
優秀賞 板倉菜々花さん(3-2)



第2学年代表 2年4組 大和田 士さん

僕が3学期、一番頑張りたいことは、勉強です。3学期は、3年生の0学期でもあり、受験の準備をする学期です。2学期の僕は、勉強面で大きな失敗をしました。それは、2学期中間テストの前のことです。もともとそれなりの成績をとれていた当時の僕は、「なんとかなるだろう」という気持ちで、ほとんど勉強していませんでした。そうすると、必然的に順位は悪くなります。結果を見て、かなり焦りました。このとき僕は、ほんの少しの手抜きが、何倍にもなって返ってくることを痛感しました。それから僕は心を入れ替え、期末テストに向けて勉強を頑張りました。しかし、今でも思うような結果には届いていません。「なんとかなるだろう」、「これくらいいいや」という少しの気のゆるみが、今でも大きな後悔として残っています。

2年生として残された時間は短いです。この短い時間の中で、どうしたらよいかを考えた結果、「小さなことをコツコツ積み重ねる」ことにしました。例えば、英単語を1日5個覚えれば1カ月で約150個覚えられることになります。10分の休み時間のうち、5分を授業の予習や復習に充てるだけで、1日30分多く勉強できることになります。小さなことに対して、どれだけ頑張れるかで、この先の結果は大きく変わっていくと思います。これは、勉強以外のことにも言えると思います。挨拶・時間・身だしなみ・掃除に対する意識。友達や周りの人に対する接しかたなど、どんなことにも共通して言えると思います。

僕たちにとって大切な3年生の0学期でもある、この3学期を、小さなことでも大切に組み立て、大きな成果をあげられる学期にしたいと思っています。



第3学年代表 3年4組 尾花 雷人さん

2021年を迎え、4月からは、もう東金中にいないのかと思うとまだ実感がわいてきません。このコロナ感染症が始まり約1年。運動会や修学旅行、総合体育大会と、自分の中で楽しみにしていたことが次々と中止になっていく中、この先の受験に対する不安でいっぱいになりました。

しかし、この1年を振り返るとすべてが最悪ではなかったと思います。運動会の代わりに行った「やれよか祭」や修学旅行の代わりに「青春ミルフィーバー旅行」といつもみたいにはできなかったとしても、クラス全員が一生懸命にやっている姿を見ていると、違った形でできて本当によかったと思います。あっという間に時間が過ぎ、卒業まであと3ヶ月となりました。それぞれの道に向かっていろいろな人が、今も頑張っていると思います。僕は陸上を高校でも続けたいと思い、高校を決めました。その環境に合うのかなどといういろいろな不安が残りますが、自分で決めたことなので頑張りたいと思います。正直、面倒だった学校も、いざ終わるとなるとさみしいなと思います。それでも、自分で決めた道に向かって頑張りたいと思います。そして、最後には全員が笑って卒業できたと思っています。そして、卒業まで「やるならとことん」を目標に全員で頑張っていきたいと思います。



キャリア教育講演会 ～1,2年生～

テーマ：東金市から世界へ

～グローバルに活躍する先輩から学ぶ～

12月10日(木)5,6校時に体育館で、本校の卒業生で新日本プロレス所属の永田 裕志 様を講師としてリモートによる講演会を実施しました。永田選手からはこれからの生活の中で壁にぶつかったときに「どうしたら乗り越えられるかを考える」「転んだときに立ち上がりまた歩きたす、これを繰り返すこと」の大切さを教えていただきました。生徒からの質問にも率直に答えていただき、心温まる講演会となりました。永田選手、本当にありがとうございました。

